

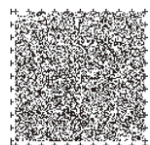
# げんごしょう 言語障がい

げんごしょう おんせい こうおん きのう しょう げんご きのう しょう  
言語障がいには「音声・構音機能の障がい」と「言語機能の障がい」があります。

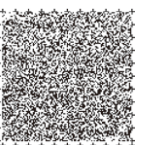
## しょう じょう たい 障がいの状態

おんせい こうおん きのう しょう  
**音声・構音機能の障がい**……きいている言葉はわかるけど、声が出せない、話す言葉が不明瞭な状態。発声機能を喪失した方は発声が難しいですが、訓練により代用発声\*を習得して会話ができるようになります。  
\*代用発声：食道・シャント・電気式人工喉頭

げんご きのう しょう  
**言語機能の障がい**……話すことや、言葉の理解・適切な表現をすることが困難な状態。言葉に関わる脳機能に障がいがあると、話すことが難しいだけでなく、きいて理解することや、文字の読み書きや計算などが難しいこともあります。



め ふじゆのかた  
▲目の不自由な方のための  
音声コード



め ふじゆのかた  
▲目の不自由な方のための  
音声コード



## はい りよ 配慮

こんなサポートがうれしい!

**ききとりにくい場合は  
分かるまで確認してください。**

おんせい こうおん きのう しょう はつおん ふ めい  
音声・構音機能の障がいでは、発音が不明瞭であったり、言葉が伝わりにくいことがあります。ききとりにくい場合は、言葉のまとまりとしてとらえ、その言葉をきき返し、分かるまで確認することが大切です。分かったふりをするとトラブルになる可能性があります。

**言葉だと難しい場合は  
ツールを用いてみてください。**

げんご きのう しょう はな こと ば  
言語機能の障がいでは、話し言葉によるコミュニケーションが円滑に進まず困ることがあります。筆談は漢字単語や絵、写真などを活用したり、コミュニケーションノート、スマートフォンアプリなどのツールを用い、内容を確認しながらコミュニケーションをとってください。

**コミュニケーションのとりやすい  
環境づくりをしてください。**

おんせい こうおん きのう しょう こえ だ  
音声・構音機能の障がいでは、声が出にくいことがあります。本人が思っていることを伝えやすいようにコミュニケーションの方法を工夫してください。スマートフォンアプリなどのツールを用いたり、雑音の少ない静かな環境を作ることコミュニケーションを円滑に進める上でとても大切です。

**短い言葉で区切り、ゆっくりと  
話すように意識してください。**

げんご きのう しょう こと ば り かい てきせつ ひょう  
言語機能の障がいでは、言葉の理解・適切な表現が困難なことがあります。話すときは、短い言葉で区切り、ゆっくりと話すように意識してください。クローズドクエスチョン(はい・いいえなど少ない選択肢で答えられる質問)なども有効なコミュニケーション方法のひとつです。

## じ れい 事例

たと  
例えば、こんなことがあります。

げんご きのう しょう かた はな こと ば り かい てきせつ ひょうげん こん  
言語機能の障がいのある方は、話すことや、言葉の理解・適切な表現が困難なことがあり、その内容や程度はさまざまです。円滑にコミュニケーションが進んでいないと感じた場合は、例えば「ミカンとリンゴどっちが好きですか?」のようなクローズドクエスチョンに変更してみる、スマートフォンアプリなどのツールを使用してみる、など相手の意思を確認しやすい方法を見つけてください。



そうだん と あ さき しょう ふくしけんけいだんたいいちらん また そうだんきんがいちらん らん  
※ご相談・お問い合わせ先は、障がい福祉関係団体一覧(P46)又は相談機関一覧(P48)をご覧ください。